

展覧会紹介:漆芸の未来を拓く—生新の時2018—	2
展覧会紹介:東京国立近代美術館工芸館移転連携事業 近代工芸のススメ	3
漆の小箱23 御所車蒔絵小篋筒—逆境を耐えた志とわざ—	4
平成29年度寄贈作品紹介、平成30年度友の会会員募集のお知らせ 他	5
INFORMATION	6



中村美緒《乾漆海洋生物箱》広島市立大学卒業

漆の小箱 23

御所車蒔絵小箆筒—逆境を耐えた志とわざ—



図1 《御所車蒔絵小箆筒》1955年頃
輪島市所蔵

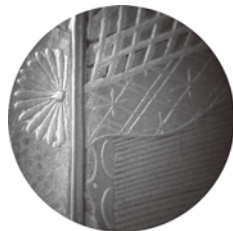


図2 御所車簾部分

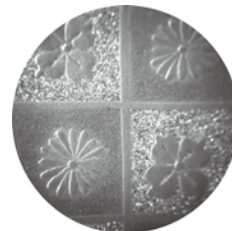


図3 甲面籬部分
梨地に見える部分は
平目粉を用いる

《御所車蒔絵小箆筒》は蒔絵の高貴な輝きを放つ寶石入れです。本作品は1952（昭和27）年から1955（昭和30）にかけて、2〜3年を費やし制作されました。当時、第二次世界大戦中にまして厳しい物資不足に陥り、国内の漆器産業は存続の危機を迎えていました。金粉をふんだんに用いた絢爛な小箆筒の制作は、他に例のない仕事であったといえるでしょう。作者は沖縄県生まれの豊平翠仙（1901〜1969）です。京都の象彦で蒔絵師としての素養を身につけ東京へ渡り、白山松哉やその門人らの注文を受けた戸辺工房に入職しました。蒔絵作家として活躍されている長男の豊平翠香氏を訪ね、本作品の制作経緯についてうかがいました。

終戦後しばらくは、漆を施したコンパクトやライターなど、進駐軍向けの土産物を作って仕事をつないでいました。国内の漆器産地は、こぞって輸出向け製品の生産に着手しましたが、真鍮やカシューなどの代用品、増量剤が混入した粗悪な漆が多く出回るなど、材料不足は深刻でした。本来あるべき漆工芸品を手掛けたという翠仙の思いは日増しに強くなっていったことでしょう。こうした願望を実現させたのが、その志を同じくする美術商、結城麟三との出会いでした。翠仙の腕に惚れ込んだ結城が、技術の粋を集めた漆工芸品で、日本の良いものを海外にアピールしようと持ちかけたのです。十分な材料費が提供され、翠仙は戸辺工房（旧芝西久保巴町）にいたころの職人同士の縁で木地や鋳（かぎ）を依頼し、制作に取り掛かりました。

こうして完成した本作品は、現在まで変わらぬ美しさを保っています。唐戸面造に観音開きの小箆筒。2度に分けて金粉を蒔き付けた金地に、御所車と土坡に籬、秋草の伝統的な文様があらわれています。高蒔絵を中心に、切金、極付など各種の技法で装飾されており、車輪にはごく薄い鉛板を貼り付けました。御所車の簾を表した細線は精緻さを極めていきます。銀鋳のついた扉を開くと、やはり金地に秋の小花を施した四段の箆筒が現れます。引手の飾りも可憐です。内側や底まです。毛筋ほどの隙も無い、精巧な造りです。翠香氏も作業の一部始終を座って眺め、唐戸面の置平目等を手伝ったといえます。

これらの制作をきっかけに、翠仙と結城の交流は続けられました。理解ある支援者との出会いによって高度な技術が次代に伝えられたことに大いに感銘を受けます。苦難の時代をくぐり抜けた漆芸の一側面をかたる貴重な資料として、守り伝える使命への想いを新たにしました。

（寺尾藍子）

▼平成29年度寄贈作品紹介

平成29年度は次の29件の寄贈がありました。ご寄贈の皆様には厚く感謝申し上げます。

潤塗四君子沈金火鉢／前大峰

匿名希望者より寄贈

松に鳥素彫盆／前大峰

墨画唐獅子掛軸／前大峰

以上木村正明氏寄贈

堆朱四君子香筒／二十代堆朱楊成

熊野二郎氏寄贈

沈黒五聖模様卓上膳／古今善峰

四君子漆絵吸物椀／竹園自耕

独楽塗食籠／戸寫光孚

八雲塗菓子器／山根漆器店

雪景山水掛軸／上田陽愷

瀧老杉掛軸／島野三秋

以上匿名希望者より

隅切鳥蒔絵干菓子盆／中村松濤濟

夏草模様香爐盆／吉田清治

乾漆華文菓子器／木村天紅

乾漆盆／木村天紅

富士に桜蒔絵椀／山崎寛太郎

勾玉螺鈿四方盆／北村久斎

乾漆輪花盆／中川哲哉

額皿「いたどり」／佐藤正巳

以上浦野恒弘氏寄贈

「蝶の楽園」／三谷吾一

白銅浮彫「白夜古城」／蓮田修吾郎

以上三谷吾一氏寄贈

日本橋蒔絵扇面形飾板／竹園自耕

海を渡る舟漆皿／國田春人

河蟬の凶蒔絵飾盆／初代西塚朝光

以上上谷内芳江氏寄贈

蘭蒔絵長手盆／竹園自耕

光琳水蒔絵菓子皿／竹園自耕

以上島峯富雄氏寄贈

和歌沈金色紙箱／長部亘 宇賀壽子

和歌沈金短冊箱／長部亘 宇賀壽子

和歌沈金飾盆／長部亘 宇賀壽子

和歌沈金飾盆／長部亘 宇賀壽子

以上宇賀章氏寄贈

▼平成30年度友の会会員募集のお知らせ

当館では魅力的な特典満載の友の会入会を随時受付けております。

◆会員の特典◆

- 1 招待券が進呈されます。
- 2 展覧会の入館料が、会員及び同伴者2名まで団体料金となります。
- 3 相互割引提携館主催の展覧会入館料が、

団体割引となります。

4 「友の会だより」「漆芸美術館だより」ほか美術館情報等の提供が受けられます。

*この他にも会員限定の催し、特典があります。

◆会費◆

個人会員 1年1,000円

2年2,000円

家族会員 年額2,000円

代表者と生計を共にする2名以上

賛助会員 年額5,000円

本会発展にご協力いただける個人及び団体

▼職員人事異動

石川県輪島漆芸美術館では、4月1日付で、人事異動がありましたのでお知らせいたします。

事務局長兼総務課長（輪島市派遣）

刀裨有司
総務課主査（同 主任） 萬砂明世

総務課主任（同 主事） 大宮正勝

総務課主任（同 主事） 高森泰子

学芸課主任学芸員（同 学芸員） 寺尾藍子

・新任職員

学芸員 高津綾乃（奈良大学大学院修了）

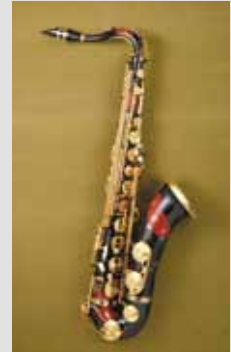
 INFORMATION

RECOMMEND

▼ **世界初 漆塗りサックスの響き**
サックスカルテットJGによるコンサート
『～漆 Japan～』

日 時 6月10日(日) 14:00～15:30
 会 場 エントランスホール *入場無料

漆塗装を施した世界初のサックス、新鋭カルテットJGが奏でます！



TOPICS

▼ 友の会主催「わかば茶会」

期 日 5月25日(金)
 会 場 講義室

▼ 「輪島市民まつり 2018」協賛 特別無料開放

期 日 6月2日(土)・3日(日)
 期間中は全館無料でご観覧いただけます。

▼ 輪島市いけばな協会 花展

会 期 6月2日(土)・3日(日)
 会 場 講義室 *入場無料

▼ 漆芸の未来を拓くー生新の時 2018ー 関連事業

期 日 6月9日(土) *当日無料開放・いずれも申込不要
 ギャラリートーク 13:30～14:30 会場 展示室・講義室
 シンポジウム 14:40～16:30 会場 講義室
 コーディネーター：水上 修 氏 (沖縄県立芸術大学 教授)

▼ 輪島沈金業組合 新作見本展

会 期 6月23日(土)～24日(日)
 会 場 講義室 *入場無料

▼ 石川勤労者文化協会 写真展

会 期 7月13日(金)～16日(月・祝)
 会 場 講義室 *入場無料

▼ 夏のうるわし縁日 2018 in 輪島漆芸美術館

期 日 8月11日(土・祝)
 おいしい出店に懐かしいゲーム等
 わんじまと一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。

*内容は予告なく変更することがあります。詳細はHPをご覧ください。

休館日

2018年7月17日(火)～20日(金)



漆芸美術館だより 第83号

2018年5月21日

編集・発行 石川県輪島漆芸美術館
 〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅 11 番地
 TEL. 0768-22-9788 FAX. 0768-22-9789
<http://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>